

安全性データシート (SDS)

2020 年 7 月 7 日改定 (GHS ラベル追加)

1. 製品名および会社情報

製品名 アルカリ土壌中和剤「ドクターペーハー液剤」

会社名 株式会社インターファーム

住所 埼玉県入間市鍵山 2-12-41 第2 繁栄ビル 2 階

担当者 吉田信一

緊急連絡先 04-2941-2435 ファックス 04-2941-2436



2. 製品の情報

- ① 単一製品・混合物の区別： 混合物（ポリ鉄、りん酸塩、有機酸、ミネラル類）
- ② 用途： アルカリ土壌中和剤（3 倍以上に希釈して使用）
- ③ pH： 1.0~1.7（0.1N 溶液）
- ④ 形状： 液体

3. 危険有害性の要約

①製品の GHS 分類ラベル

・GHS 分類

「健康に対する有害性」

急性毒性（経口）：区分 4

急性毒性（吸引）：区分 3

皮膚腐食性及び刺激性：区分 1

目に対する重篤な損傷性又は刺激：区分 1

特定陽的臓器毒性（単回暴露）：区分 1（呼吸器）

「環境有害性」

水生環境有害性（急性）：区分 3

②GHS ラベル要素



③注意喚起語：危険

④有害性情報

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 吸引すると有害
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
- ・ 臓器の障害
- ・ 水生生物に有害

⑤安全対策

- ・環境への放出を避ける ・屋外又は換気の良い場所で使用すること
- ・保護手袋、保護眼鏡を着用すること
- ・この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと

4. 応急措置

- ① 目に入った場合 : 直ちに流水で最低5分間以上洗浄する。
違和感がある場合、速やかに医師の診療を受ける。
- ② 皮膚についた場合 : 水洗し、必要に応じ石鹼を使用し中和する。
- ③ 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所へ移し、うがいを実施する。
- ④ 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させ、口中を良く洗浄した後、速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- ① 消火方法 : 速やかに移動可能な安全な場所に移す。移動不可能な場合は、散水して冷却する。
- ② 消化剤 : 水、泡、粉末
- ③ その他 : 製品は不燃性液体である。

6. 漏出時の措置

作業者は保護具を着用し作業を行う。洗い流す場合は、アルカリで中和処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- ① 取り扱い : 粉じん、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ② 保管 : 高温多湿の場所を避け密閉保管する。

8. 暴露防止措置

- ① 管理濃度 : 未定
- ② 許容濃度 : 知見なし
- ③ 設備 : 耐酸性の漏れの無い装置を使用する。
- ④ 保護具
 - 呼吸用保護具 : 防塵マスク
 - 保護メガネ : ゴーグル型保護めがね
 - 保護手袋 : ビニールまたはゴム製
 - 保護衣 : 長袖

9. 物理性/化学性

- ① 外観：薄紅色液体
- ② 沸点：108℃
- ③ 揮発性：なし
- ④ 酸度 pH1.0~1.7(0.1N 溶液)
- ⑤ かさ密度 1.31~1.34

10. 危険性情報

- ① 可燃性 : なし
- ② 発火点 : なし
- ③ 自然発火性 : なし
- ④ 安定性・反応性 : 水に易溶 エタノールに可溶 トルエンに不溶

11. 有害性情報

- ① 皮膚腐食性：眼、皮膚共に刺激性あり。
- ② 急性毒性：経口 ラット LD50 5000mg/kg
経皮 ラビット LD50>2900mg/kg
- ③ 慢性毒性：特に注目すべき情報はない。
- ④ がん原性：特に注目すべき情報はない。
- ⑤ 変異原性：特に注目すべき情報はない。
- ⑥ 生殖毒性：特に注目すべき情報はない。
- ⑦ 催奇形性：特に注目すべき情報はない。

12. 環境影響情報

- ① 分解性：加水分解するが環境影響は変わらない。
- ② 蓄積性：ない。
- ③ 魚毒性：原液は水生生物および魚類に対し有害。

13. 廃棄上の注意

- ① 産業廃棄物「廃酸」として適正処理する。特に田畑、湖沼への投棄を避ける (pH)
- ② 遵守法規：「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」

14. 輸送上の注意

落下、破袋なきよう積み込む。

15. 適用法令

毒物および劇物取締法に該当しない。

16. その他

危険・有害性情報は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意すること。